

- ・23年目の体験学習（杉浦 良）
- ・太陽と緑の会国府作業所新築、其他工事記録帳（木内 昭）
- ・お知らせ（鮎喰川クリーンアップ、体験ボランティア2007他）
- ・スタッフ雑感（桑内 一典）
- ・ご支援下さった皆様 / 編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

2007年6月 120号

— 23年目の体験学習 —

杉浦 良

太陽と緑の会月の宮作業所にいちばん近い中学校である入田中学校から、体験学習のお話がありました。私達太陽と緑の会と市内の老人保健施設を、入田中学校3年生が半分にわかれて、それぞれ体験するというものです。6月21日は徳島市国府町にある太陽と緑の会リサイクル作業所で、リユース・リサイクル活動を一緒に体験してもらいました。翌22日は太陽と緑の会月の宮作業所で、自転車のリユース作業の体験です。思えば、徳島市入田町月の宮にリサイクル活動を中心とした、様々なハンディーを抱えたメンバー達の作業所を開設したのが、昭和59年、1984年です。障害者地域共同作業所などという言葉が、徳島にありませんでした。三方を山に囲まれ、車がようやく一台通れる細道の下は谷だった場所のつきあたりに、使われていない豚舎がありました。その豚舎にブルーシートを張って横からの雨を防ぐことで、作業所とストックヤードを確保しました。トイレを作ること、飲み水の確保を考える事からの出発でした。運営費は、太陽と緑の会の創立者だった近藤先生の病院の駐車場を借りての、月一回のリサイクルバザーの売り上げです。あるのは頭でっかちなイメージと想いだけです。色々な方々の、入れ替わり立ち代りの出入りをつなぐことで、ようやく活動をつないできました。水道設備を整え、山を切り崩し、谷を埋めることで、生活棟と畑の場所を確保しました。軒を付け、豚舎の側面をスレートで覆い、窓を付け、豚小屋のブロック塀を倒して、土を入れ、平

らなコンクリート床にし、室内トイレやシャワー設備を作り、排水池を作り、赤土をパワーショベルで掘り起こして、石を取り除き、たい肥を作り、すきこむこと10年余り、全国から250人もの若者達が10日に及ぶワークキャンプ活動を通して、関わってくれました。月の宮作業所では、そうしたこの歴史を、飾ってある写真パネルを示しながらのオリエンテーションとなりました。作業所メンバー達は、日々日常とは違って、やや緊張気味ですが、動きも良く、精一杯取り組む姿勢が印象的です。体験学習の大きな意味に、生徒たちがそれなりにインパクトを受けることがあります。作業所のメンバー達が中学生にちょっといい格好をして教えたり、日常活動をアピールできる点も重要です。



入田中学校体験学習

生徒たちの体験学習の感想文から、少し紹介します。(前半はリサイクル作業所、後半は月の宮作業所での感想)

Aさん=衣服をハンガーにかけたり、食器をふいたりを会員の人とやってみて、たいへんでした。会員の人たちは、すごく手つきがよくて、びっくりしました。でもなんとかのりきりました。会員の方は、すごくたのしそうでした。・・・自転車を解体するために、たくさん道具があって、思った以上に本格的でびっくりしました。そして、自転車を解体した後、ちゃんとまた自転車に直していき、新品と同じくらいピカピカにして売るのですごいなあと思いました。そしてそしてさらに、柱のところに絵が「ピカピカの自転車でお客様によろこばれよう」とかいてあったので、すごく人のことを考えとるなあと思いました。B君=ぼくは衣類のたたみをしました。とてもあつくてとてもつかれて苦しかった。・・・自転車をはじめ磨きました。とてもきれいになりました。そして次に自分の自転車をきれいに磨きました。とてもうまくしゅうりができました。どれをしゅうりしたかと言うと、ベルに、反射板、ペットボトル入れをつけ、ペダルをつけました。とてもうれしかったです。いろんなことを教わりました。Cさん=今日、太陽と緑の会でたくさん大変なことをしたけれど、とても楽しかったです。太陽と緑の会にいる人が今日、私たちがやったようなことをいつもやっていると思うと、とてもすごいなあと思います。・・・自転車解体は力がけっこう必要だったので少しいへんでした。しかし何台もしていくとなれてきて、すごく楽しくなってきました。そして、自分の自転車の点検もやってくれて、帰りはすごくラクだったので、よかったです。Dさん=思っていたより、広くて、人がたくさん来ていたのでびっくりしました。あと、とてもつかれたけど、楽しかったし貴重な体験ができて良かったです。・・・自転

車の鉄のところはスチールウールでこすると、キレイになるというのはぜんぜん知らなかったのでびっくりしました。すごく大変な作業だけどとてもやりがいがあるすばらしい作業だと思いました。あと、自分の自転車まででんけんや、みがいたりできるとは全然思っていなかったのでとても嬉しかったです。E君=平日なのに意外と持ち込み物が多かったです。だから、とても、大変で、すごいなあと思いました。みんな、重い障害の人はいなくて、思っていたより、みんな親切だったので、とても仕事もやりやすかったのでよかったです。・・・自転車も壊し方さえしっていれば簡単に壊せることがわかりました。みんないい人だったので、とてもよかったです。自転車がパンクした時は、お願いしたいです。F君=あれだけふくやとうきなどがあつたので、リサイクルするのですごいと思った。・・・むこうに行くと、いろいろな自転車がありそれを1つ1つの部品にぶんかいしその部品をくみたくて1つの自転車につくっていくのはすごいと思いました。

2日間の体験学習でしたが、地元の中学生が関わって、こんな感想を抱いてくれたことに、しみじみと、嬉しさや難さを感じる、今日この頃です。



入田中学校体験学習

太陽と緑の会国府作業所 新築、其他工事記録帳

木内 昭

平成十八年一月二十八日 小屋裏階段上
部棧木取付け

二月七日 食堂天井より下り壁こしらえ

二月八日 食堂板壁の上に軽カル板重
ね張り塗装

二月八日 北側道路アスファルト舗装改
修する

二月二十日 階段廻りPB9.5 ミリ張
りPB合計45枚使用

二月二十三日 2F妻壁東の分 ジャロ
ジー 三組取付け。2F妻壁西の分 ジャ
ロジー 一組取付け。

二月二十五日 玄関スロープタイル張
り。壁サイディング張り。

二月二十八日 西階段室コンパネ壁下地
へ軽カル板取付け。

三月一日 中央階段室 手摺追加取付
け。

三月二日 東側道路よりの進入路脇コン
クリート壁破損ヶ処 9M修理鉄筋舗装
コンクリート。

三月二十日 進入路横へ花壇こしらえ。

三月二十九日 進路左面へ鉄パイプ支柱
30本取付け孟宗竹の手摺を取付け。

五月十日～五月十七日 これで一応終了
後 本館2F上部天井の無い部分屋根に
取付けてある杉厚板が余り面白くないと
の意見があり又役所の都合もあるので白
地波鉄板の白色を見せる形で全面打上げ
張りとする。使用鉄板寸法(長さ)三通り
で百五十枚使用した。要するに木材を見
せぬための工事です。(完)

テンプラ廃油 回収します

太陽と緑の会では一般市民の皆様か
ら、ご家庭で不用となったテンプラ廃油
を無料で回収しています。お引取りした
廃油は、(株)旭金属様のご協力によって、
ディーゼル燃料に生まれ変わります。

廃油は流し台でそのまま流せば川が汚
れます。固めて燃えるゴミに出すと焼却
炉の寿命が縮まります。

原油価格が高騰する今日、テンプラ廃
油を有効活用してみませんか。



テンプラ廃油回収BOX

お知らせ

1周年記念感謝セール開催

4月28日～30日の3日間、太陽と緑の会の事務局・作業所兼店舗建物の再建1周年を記念し、これまで支えて下さった市民の皆様方への感謝の気持ちをこめて、特別セールを行いました。

京都から来られた野田さん夫妻のご協力により、太陽と緑の会の火災から復興までの1年3ヶ月余りを300枚位の写真に収め、10枚に渡るパネル展示を行うことができました。

鮎喰川クリーンアップ

5月29日 午前9時30分～午後12時、太陽と緑の会のハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計20名が参加して、鮎喰川河川敷の一斉クリーンアップ及び草刈りを行いました。

2トンドンプ2杯分の不燃物、鉄くず、空き缶を拾い集めた他、刈り払い機3台を使用して堤防道路両脇、総延長2キロメートルの草刈りも行いました。当会で処理困難なゴミについては徳島市のご協力を頂きました。



鮎喰川クリーンアップ(メンバー工藤さん、藤田さん)

とくしま環境県民会議主催の「ごみゼロの日キャンペーン」の一環として行ったもので、同会議(平成12年1月発足)には太陽と緑の会も会員として参加しており、今回で7回目となります。

当会では日常活動の中でも1週間に2～3回の割合で、河川敷及び土手上の清掃活動を行っています。

通常総会開催

6月16日 午後6時40分から9時50分まで、太陽と緑の会事務局にて通常総会を開催。出席者12名、委任状提出者26名。再建1年目の事業報告(液晶プロジェクター使用)、収支決算報告の承認及び監事の選任を行いました。参加者の方からは、安全管理、人材育成などについての意見が出ました。今後の運営に活かしていきたいと思います。

スタッフ評価ミーティング

5月12日 スタッフ評価ミーティング実施しました。これはスタッフの仕事内容について、当会で活動する様々なハンディを持ったメンバーが評価する、というものです。「もう少し分かりやすく説明してほしい」「たまには(トラックに乗って不用品の)回収に行きたい」など、忌憚のない意見が出ました。

メンバーに職員への意見を聞いても出てくるわけがない、というご指摘を頂くことも多いですが、17年間のミーティングの積み重ねの中で徐々にではありますが様々な声が出てくるようになってきました。ミーティング後は、各メンバーの表情がいつもよりも晴れ晴れとしているのが印象的でした。

会議・講演・イベント

4月15日午前9時～11時半、眉山の「地蔵越え」怒りの”クリーンアップ作戦(主催：とくしま環境県民会議)が実施。太陽と緑の会から代表の杉浦と長男の光君が参加。清掃活動に汗を流しました。

5月14日 月の宮共同生活棟にて、青年長期ボランティア西田君の歓迎会を実施。様々なハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティアが参加

6月2日 第11回徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会総会が開催。障害者自立支援法の施行に伴い、障害者地域共同作業所も、①個別給付事業への移行、地域活動支援センターへの移行、③障害者地域共同作業所として継続、のいずれかの選択を迫られている中で、連絡協議会の方向性についての議論も活発になされました。当会から代表杉浦、青年長期ボランティア西田君が事務局として参加。

6月14日 とくしま環境県民会議総会杉浦出席 太陽と緑の会活動報告。

6月17日 第5回詩のボクシング徳島大会 太陽と緑の会リサイクル作業所メンバー米田君参加。ベスト4。

体験・実習・見学

5月6日 ベトナム人留学生チャンさんが月の宮作業所にて活動体験

5月18日 阿波市在住の方が半日体験実習

6月1日 板野養護学校高等部2年生及び教員の方が見学

6月21日～22日 入田中学校中学3年生9名 太陽と緑の会リサイクル作業所、月の宮作業所にて職場体験実習



鮎喰川クリーンアップ 2007

体験ボランティア 2007

体験ボランティアは、様々なハンディを持ったメンバー、地元のボランティアとともに、太陽と緑の会が日常的に行っている、不用品・資源ゴミのリユース・リサイクル、無農薬農業などの活動を、ボランティアとして体験するプログラムです。

宿泊もできますので遠方からの参加も可能です。過去の体験ボランティアについては、ホームページに写真などを掲載していますので、ぜひご覧下さい。

< 日程 >

8月23日(木)～8月27日(月)

(1日、2日の参加も可能です)

< 開催場所 >

太陽と緑の会事務局

(生活棟での共同自炊による無料宿泊も可能)

< 定員 >

10名

< 参加費 >

1,000円

(ボランティア保険料他)

< 参加資格 >

高校生以上で当会の活動に興味のある方
自分のことは自分でできる方

< 申込方法 >

太陽と緑の会事務局までお電話、もしくはメールでお申し込み下さい。メールの場合、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを明記して下さい。

< 主催・申込・問い合わせ >

NPO法人太陽と緑の会事務局

徳島県徳島市国府町南岩延 107-1

TEL 088-643-1054

FAX 088-642-1054

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

スタッフ雑感

皆さん、こんにちは。専任職員の桑内一典です。主に回収などの外回りを担当しています。

私がこの職員になって5年目に突入しました。私が来た頃に比べると、随分変わりました。私自身もそうですが、会自体もいろいろあって変わりました。本当にいろいろありましたが、一番大きかったのはやはり火災です。私は火災当時、一番に駆けつけました。私が駆けつけたときにまだ煙が出ていたあのリアルな光景は今も目に焼き付いています。

そして皆さんの心温まるご支援のお陰で奇跡的な復活ができたのです。日常活動の中では目の前の事に追われて忘れがちですが、ふとした瞬間に火災当時から復興までの事を思い出します。

私たちはこの事を決して忘れてはいけないなあとその時思うのです。

そしてもうひとつ、太陽と緑の会の主人公であります、メンバーのことです。

みんなあの日からよく頑張ってきたなあと思います。本当に腹の立つ事もあり、日常ではいろんなバトルが繰り広げられてますが、メンバーの成長を感じたり、彼らのいつもとは違う本心や優しさなどを感じたり、そう感じる言葉を相手がポロリと言った瞬間には、感動ややりがいを覚えます。

そんな瞬間を感じた場面をひとつだけ紹介します。今年の春に養護学校を卒業した子とよく回収に行ってますが、その子は最初はかなり非力で、持久力もなかったのですが、つい最近の回収では、県

営住宅の4階から階段で膝下ほどの金庫を私と二人で1回休んだだけで下ろしきったのです。その時は嬉しかったし、もちろん本人を褒めました。

回収の時はメンバーの命を預かってるし、対お客様というのもあります。だからこそ、メンバーには危ないと思った時やお客様に失礼と思った時はその場で厳しく叱りつける事もあります。

でもそんな時はその後で何故厳しい言い方で注意したかを丁寧に説明します。

また、リサイクル作業所で居る時もメンバーに厳しい言い方をしたりもします。基本的に相手を思う気持ちからですが、でも本気で腹の立つことも、しばしば。

でも時より自分と何処か似ている部分があるから腹が立つんだよなあと自己分析する事も。

心のバトルと対メンバーのバトルをくり返しながらいき今日も日常作業を行っている私です。(桑内 一典)



専任職員
桑内 一典
徳島県出身
平成15年5
月より当会
にて活動

当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2007年4月1日～2007年5月31日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

ご寄付下さった皆様方

西谷、林、井上、青木、西田、南戎子野町内 ほほえみ会、岡田、小西、前田、岡久、井形、杉浦、野田、三芳

(以下、郵便振替口座にご入金下さった方 4月24日～6月25日)山中、都築、平島

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市○菅井、石川、川浪、寺澤、岸、西谷、門田、奥野ガラス、森上、大西、藤見、勝見、井口、大杉、石崎、フォトハラダ、川原、岩瀬、三木、渡辺、片山、坂東、西条産婦人科、谷、鶴島、斉木、高原、川上、下村、元木、大田、小野、徳島北ロータリークラブ仁木、藤井、阿部、多田、井上、鎌田、八巻、かんご学院、中川、野藤、九鬼、田井、勝浦、小林、おとみ不動産、本田、原司法書士事務所、七條、瀬部、大野、室井、沖野、田中、鈴木、後藤、小喜多、谷脇、パソQ、中村、ワタベサイクル、杉浦、高橋、象潟、桑原、喜多、佐々木、堤安、船附、三上、米田、小倉、小西、西内、吉岡、東條、小川、井戸、不動建設、徳永、小中、近藤整形、ノイマン コンピュータースクール、井上、村田電気、平尾、矢本、小松、街田、ツタヤ蔵本店、横山、日和田、村上、森本飯田、井戸寺、久次米、東、中野、大島、納田、岡本、柿原、石部、篠原、松田自動車谷川、中山、レイ美容院、後藤田、村沢、栗谷、宗、松本○石井町○三木、稲垣、白井、武市、芝、坂本、瀧本、石井薬局、筒井エンジニアリング○鳴門市○秋山、三好、井上、ユキ美容室、川上、中野、久龍、丹羽、ローソン安藤○北島町○結城、ポーラ化粧品、坂口○藍住町○鴻池、竹沢、三木○板野町○石田

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市○清海、石原、倉本、村田、木下、谷口、原前、田中、沖津、河野、石橋、小林、永末、山崎、東條、坂井、近藤、谷脇、多田、高原、富永、谷、松浦、三木、藤本、新居、杉浦、蔵本、後藤、鷹田、和田、向井、松島、樋口、井裏、中、武田、沼田、遠藤、山川、斉藤、梅津、中野、日野、太田、元渕、工藤、笠谷、東、滝本、永松、桂、小出、大関、枝川、船戸、藤岡、玉田、本田、栗飯原、鳥居、米澤、児玉、明丸、林、丸岡、井口、落合、山口、中野、川口、澤内、高見、岡本、友成、松岡、山本、大西、久米、島、井内、塩田、荒井、鎌田、高原、鈴江、金沢、森岡、岡、富永、椎野、長江、塚本、川人、西京、佐々木、豊田、中川、福井、明石、エイゼン建設、宮本、株本、桑原、渡辺、田村、池田、荒木、倉田、長尾、石本、吉岡、原、真弓、坂東、佐藤、東、坂口、川真田、福澤、多田、大塩、河野、岩崎、山松、小林、七条、徳元、株本、和泉、森北、徳島キリスト教会、野ノ瀬、蔭山、藤森、山田、出葉、山下、高橋、瀬尾、住吉、向井、鳥尾、中山、岸、中西、森下、古川、大和、斉藤、福良、岸本、三木、森、松島、竹内、中野、松田、平戸、谷脇、藤岡、松本、武知、団、平井、渡部、瀧本、阿部、宇坂、川崎、森本、津池、緒方、藤田、長岡、境、ハッピーエンゼルの会、森、鎌元、竹内、中川、バリケン・ジョゼマリオ、佐野、水本、三浦、上田井、東口、吉林、脇谷、内田、篠原、大岩、岩瀬、岡田、中村、宮城、豊田、生駒、中島、益田、宇野、高田、山口、川人、笠谷、折口、井形、賀川、前田、川渕、吉田、久次米、西森、明丸、岸本、吉成、児玉、近久、小池、芥川、中尾、楠、多賀花、島、真沢、仲野、榎本、青木、坂井、角、坂東、新居、二宮、岡本、大住、佐竹、湯浅、高木、浜口、近藤、宮本、吉本、山本、藤本、佐藤、笹田、松本、川端、富内、澤、中平、岡田、森本、沖原、阿部、井上、河原、大松、勝間、富崎、樋口、津村、下村、高見、岩佐、松浦、元木、榎本、吉田、田村、照本、岩崎、播磨、大黒、島野、福島、小林、工藤、松本、飼場、熊川、長江、船戸、三好、宮本、森永、笹山、安田、東口、吉村、佐野、尾藤、中村、松田、漆原、藤澤、富永、宮村、西内、森、荒木、地面、山田、田中、奈良、植田、北川、伏谷、渡部、木村、窪、里東、林、北島、塩田、清水、三国、前野、交告、速水、多田、犬伏、高原、大西、中村、坂口、和田、栗坂、中山、重井、石井、内田、松井、鎌田、赤池、佐野、金本、平島、津村、城福、川崎、若林、宮村、石川、大上、坂尾、松長、鈴木、佐々木、小川、荒木、横田、杉井、美馬、小

林、石鎚、仙石、浅川、真貝、(株)テクビス、江原、生島、杉原、竹本、嶋津、三輪○鳴門市○青山、中、(有)ほほえみ、戸井、西川、賀川、中尾、桑野、浜田、坂尾○阿波市○割石、岡田、森本、増田、森本、田中、Dam Flost、尾崎○吉野川市○三倉、山崎、佐々木、石田、後藤田、多田、近藤、工藤、藤井、吉田、笠井、中西、大久保、石原、岡、田村、祖父江、庄野、金子、戸田○石井町○貴田、松浦、以西、藤本、久米、吉岡、古高、中川、和田、安岡、吉田、大宮、森下、山西、中村、清水、佐々木、桑原、武市、高木、川端、藤重、芝、瀬部、川田○阿南市○石本、上野、和泉、西岡、高坂、石川○北島町○多田、生藤、谷口、園上、西條、脇、久米、渡辺、基上、坂東、相原、塚本、樋口、西本○松茂町○千葉、喜来○藍住町○中原、林、長尾、大寺、阿部、四宮、市原、三輪、松尾、田中、平山、藤井、藤田、岡本、委託販売の店フリー、鳥取、中川、河野、池田、玉井、田井中、赤石、岡川、上崎、高田○神山町○山田、後藤、中原○美馬市○奥村、松尾、北岡、小松○上板町○小磯、湯浅、河野、松岡、中川○松茂町○リーデル、松浦、吉本○南淡路○瓦川○美波町○郡○板野町○山崎、辺見、楠本、木田、五條、沖津、山田、高橋○小松島市○佐藤、大室、宮本、渡辺、数藤、伊川、井内、中川、劉偉○那賀町○岸○佐那河内○植松○勝浦町○登木○海陽町○谷岡○千葉県○横山○京都府○岩瀬、三芳○愛知県○杉浦○埼玉県○本田○東京都○荻野、内藤、滝倉○広島県○上野

市民の皆様からご提供頂いた品物のうち5分の4は、品物としてのリユース、もしくは資源としてのリサイクルにつなげ、有効に活用させて頂いております。

なお入念なチェックを行ってはおりますが、万一、お名前の記入漏れ、誤字・脱字等ございましたら、事務局までお申し付け頂ければ幸いです。

太陽と緑の会月の宮作業所 自然ふ化・平飼いによる養鶏



太陽と緑の会月の宮作業所 鶏舎にて(左:生活棟・作業所で出た生ゴミや畑の草取りで取った雑草を食べる
右:ここの鶏舎で生まれた雛。今年40羽誕生。未来の親鳥です。)

編集後記～お金にはならないけれど～

当会作業所の様々なハンディを持ったメンバーさんは、ここに来るまでに紆余曲折を経てこられた方がほとんどです。

プライバシーの問題もあってあまり具体的な話はできませんが、諸事情により社会福祉法人の法定施設から敬遠され、たらい回しにされてきた方、養護学校の先生から問題児と認識されてきた方、法制度の谷間にあって行き場がなく自宅待機を続けてきた方、など様々です。

県外出身の方もおられますが、わざわざ県外の作業所に来るようになった背景には、それなりの事情があります。

10年、20年という作業所での経験の積み重ねによって、毎日作業所に通ってることができなかった人が休まず来られるようになったり、力のなかった人が冷蔵庫や家具も安定して運べるようになったり、磨き作業ができなかった人が工具を駆使したパーツ交換作業までできるようになったり、と変わってきました。

ある程度長いスパンで見ないと気づきにくいことですが、相手の言葉が心に届くようになる、自分の気持ちを自身の言葉で言えるようになる、自分なりに精神的なバランスがある程度取れるようになる、といった内面的な変化もありました。

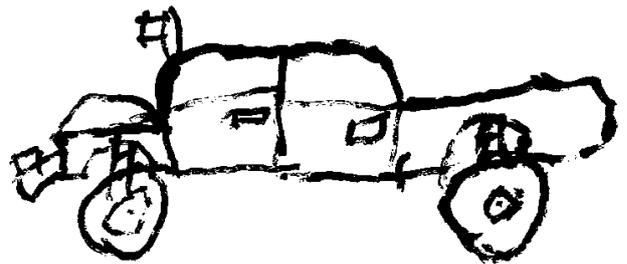
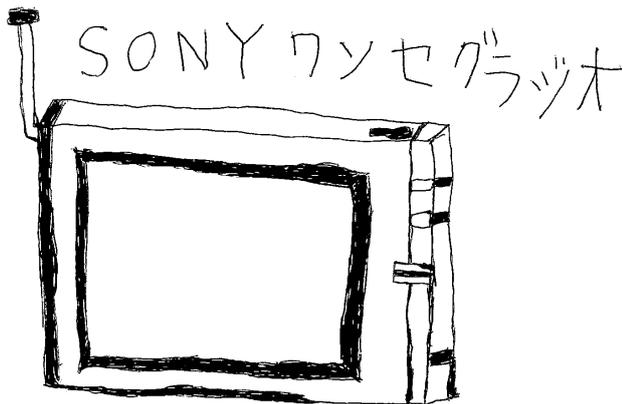


イラスト 左 藤田さん 上 小倉さん

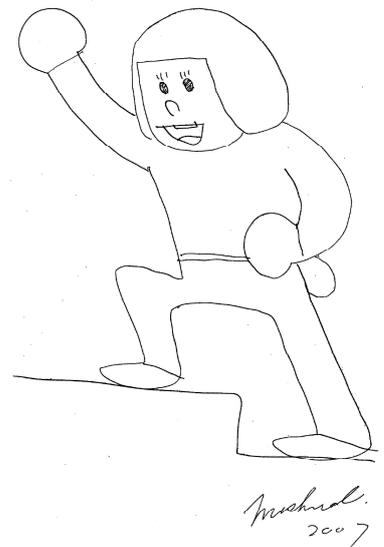
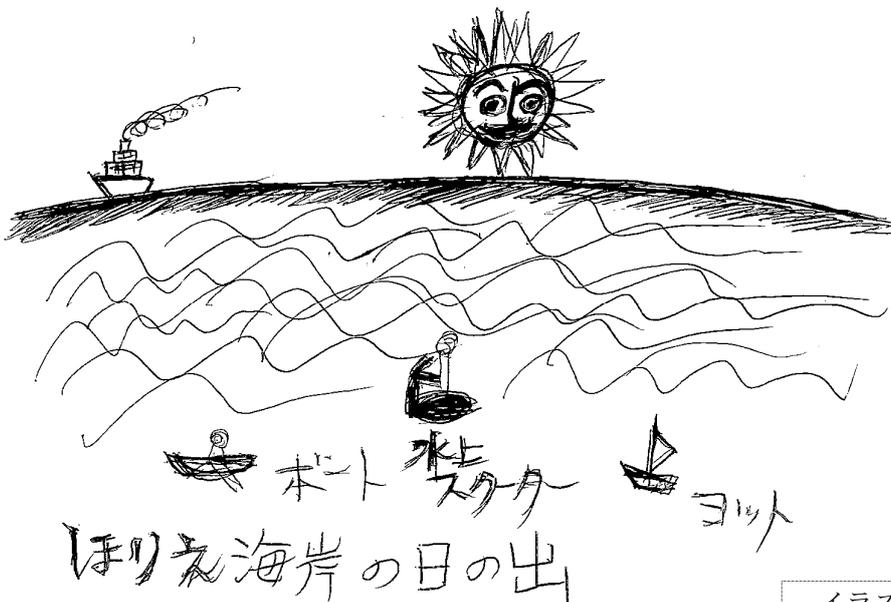


イラスト 左 伊藤さん 右 西田君

様々なハンディを持った方の、ハンディの程度を表す言葉として、「重度」「軽度」という言い方があります。一般的には重度の方が軽度の人よりも大変だと思われがちです。

しかし、福祉の現場に詳しい方であればご存知かと思いますが、福祉的サポートの必要性で見ると、軽度の方が楽で、重度の方が大変だ、とは限りません。生育環境、家族的背景、内面の問題他、様々なものが絡み合っているからです。

軽度の方で、反社会的・非社会的行為を繰り返し家庭崩壊寸前というケースもあれば、重度の方で、民間企業で働き、安定した社会生活を営んでいるケースもあります。重度、軽度とはハンディのひとつの側面を測る尺度にすぎません。

しかし、社会福祉法人等による既存の法定施設における公的資金の支給基準は、重度の人には多く、軽度の人には少なく、が基本となっており、サポートの必要性を十分には反映していません。

障害者自立支援法でも、障害程度区分の判定基準は身辺自立能力を重視したものとなっており、ある程度の修正はあるものの、実態との乖離が現場サイドからも指摘されています。

公的資金への依存度が高い法定施設において、施設経営を安定させるためには、メンバーさんの受入に必要なコストと受入によって得られる収入（公的資金）とのバランスを考えることも大切になってきます。

その結果、ハンディを持ったメンバーさんを見ると「この人を受け入れるといくらもらえるか」と計算する瞬間があるかもしれません。

軽度だが多くの福祉的サポートを必要としている人を受け入れることは、手間がかかる割にはお金にならない、つまり経営の安定という観点からはマイナスと見られる可能性が高くなります。

公的資金の支給額は概ね通所日数に比例するため、中身の充実よりも日数の確保が優先されることもあるでしょう。メンバーさんの休む日数が多くなると、職員に給料が払えなくなる事態も想定されるからです。毎日休まず来てくれるメンバーさんは確実に収入につながる存在として歓迎されることとなります。

福祉とは何か、何のためにあるのか。永遠のテーマかもしれません。（小山）

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディを持ったメンバー達の地域共同作業所（2箇所）とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々（一般市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延 107-1
TEL・FAX 088-643-1054（事務局）
TEL・FAX 088-642-1054
（不用品リユース・地域活動支援センター）

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

E-MAIL t-midori@jeans.ocn.ne.jp

代表理事 杉浦 良 編集 小山 隆太郎

編集サポート 岡田 郁子

年会費：正会員1万円 準会員1,000円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。